

第 1 号議案

令和 6 年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録並びに付属明細書について

令和 6 年度 事業報告

令和 6 年度は、国内外の観光需要の回復とともに、三重県の観光業界も着実に復調し、さらなる発展を遂げました。令和 5 年度に引き続き、国内観光客数や観光消費額は増加傾向にあり、コロナ前の水準に近づいています。特に、2025 年 1 月の国内客の増加率は全国 3 位で、宿泊率も向上しました。インバウンド需要も回復し、三重県への外国人観光客数は前年を上回りました。しかしながら、都道府県別のインバウンド客数は下位に低迷しております。

この 2025 年 4 月から「大阪・関西万博」が始まり、「山口祭」も同年に開催され、式年遷宮行事が始まりました。また 2026 年 9 月には「愛知・名古屋アジア競技大会」が開催される予定です。このようなビッグイベントや催事をチャンスとして三重県への来訪をしていただけるよう周遊性を高め、滞在日数が増えるような、三重ならではの旅の魅力を三重県観光連盟公式サイト「観光三重」にて発信して参ります。

三重県観光連盟の公式サイト「観光三重」が 2024 年の都道府県・政令指定都市別の公式観光サイト推計閲覧者数ランキングで全国 1 位を獲得いたしました。みえ旅アンバサダーと連携し、ユーザー目線での情報発信を行い、三重県ならではの観光資源の魅力を発信した結果です。

公式 SNS においても合計登録者数は前年比 9% の増加となり、観光情報を効果的に発信いたしました。季刊誌「観光三重」も冊子形状のタイプに変更し、継続して発行いたしております。

公式サイト「観光三重」のデータ収集や分析強化を行い、合わせて多言語サイトの「VISIT MIE」の構築もいたしました。また、地域 DMO へのデジタルマーケティング支援の他、観光地経営推進事業、伴走型コンサルティング支援を強化し実施いたしました。

観光庁の補助事業で「JR 関西線途中下車ぶらり旅」の採択を受け、県、沿線市町、DMO 等による連携共同会議を設置・運営し実施いたしました。

事業企画・宣伝委員会においては三重テラスにて「三重の酒とあて」イベントを開催し、関連して近鉄の観光列車「つどい」を使用し、「三重のほろよい電車」を運行、また「フォトコンテスト」や公式 SNS 等で「三重であなたがしたいことをかなえます」といった企画を実施いたしました。

令和 6 年度から始まったインバウンド事業については、中期事業計画に基づき、JNTO と連携した情報発信や販路開拓においては台湾・タイのセールスレップ（営業代理店）の設置、TTAA（タイ旅行業協会）会員へのセールスに取り組みました。またインバウンド委員会としても TTAA 会員との県内における商談会等も開催いたしました。

令和 7 年度は、三重県の観光資源を最大限に活用し、さらなる観光振興の発展の一助として、今後も持続可能な未来を築き上げるよう三重県観光連盟は研鑽を図っていく所存ですので、皆様のご協力、ご指導賜りますようお願いいたします。

【目標数値KPI】

項 目	令和 5 年度		令和 6 年度		
	【実績】	対前年度 比	【目標】	【実績】	目標達成率
1. 観光消費額 (暦年)	6,000 億円 (令和 5 年)	—	5,130 億円 (令和 6 年)	—	—
2. 延べ宿泊者 数 (暦年)	733.5 万人 (令和 5 年確定値)	—	821 万人 (令和 6 年)	869.2 万人 (令和 6 年速報値)	105.9%
3. 観光客満足 度	95.00%	100.63%	96.00%	—	—
4. リピーター 率	89.00%	98.34%	90.00%	—	—
5. 再来訪意向	43.50%	97.97%	50.00%	—	—
6. 公式サイト アクセス数	2,621 万 PV	97.43%	2,500 万 PV	2,615 万 PV	104.6%
7. SNS・メ ルマガファン 数	251,043 人	112.78%	270,800 人	274,298 人	101.3%
8. 宿泊予約金 額 (宿の予約サ イト経由)	2,504 万円	44.77%	2,500 万円	269 万円 (12 月末)	10.8%
9. 広告等収入 額	3,111 万円	71.96%	1,300 万円	2,494 万円	191.8%

※「全県DMO等支援業務」「インバウンド向けマーケティング業務」については、中期事業計画におけるKGI・KPIをもとに別途作成。

※「1. 観光消費額」、「2. 延べ宿泊者数」は、「三重県観光振興基本計画」の数値。

※「4. リピーター率」は、三重県「観光客実態調査」の「来訪回数」の項目における宿泊客の来訪回数が2回目以上」の数値。

※「5. 再来訪意向」は、三重県「観光客実態調査」の「再来訪意向」の項目における「大変そう思う」の数値。

※「9. 広告等収入額」は、広告収益とする。（手数料収益、県受託収益は含まず）

【令和6年度の主な取組】

1. 「インバウンド向けマーケティング業務」・「地域DMO等支援業務」の取組み

「全県DMOを担う三重県観光連盟のあり方検討会議」を経て取りまとめられた「最終報告書」に基づき、連盟にて「インバウンド向けマーケティング業務」及び「地域DMO等への支援業務」を令和6年度より主体的な取組みを行いました。また、それに伴い連盟内にあらたに「インバウンドチーム」を設置するとともに、全県DMO担当課長を配置しました。

2. 全県DMOを担う三重県観光連盟のあり方検討

令和5年度に引き続き、連盟が担うべき役割、機能を検討するための検討を行いました。令和6年度においては「国内向けプロモーション業務」「データマーケティング業務」のあり方検討を実施し、令和7年度に向け「令和6～8年度中期事業計画（完成版）」を策定しました。

【令和6年度事業】

I 観光情報の収集発信

1. 観光情報提供事業 28,968千円

公式サイトやSNSを活用して観光情報を効果的・効率的に発信するとともに、電話等による問い合わせに対しニーズに応じた観光案内を行いました。

（1）公式サイトによる情報発信

アクセスデータに基づいた特集コンテンツや取材レポート等を企画することで、公式サイト「観光三重」において、ユーザーニーズに応じた観光情報等を随時提供し、より魅力のあるサイトを目指しました。

- ・地域ブランディング事業によるプロモーション
- ・みえ旅アンバサダーなどのユーザーを活用したプロモーション

株式会社ヴァリュースと公益社団法人日本観光振興協会の共同調査による、「2024年の都道府県・政令指定都市別の公式観光サイト推計閲覧者数ランキング」で1位を獲得

【主な実施内容】

- ・「ソフトクリーム特集」「満福グルメ」など季刊誌と連動した特集コンテンツ、花の開花情報やタイミングに応じたお祭り情報など旬の情報等を随時提供
- ・「持続可能な観光地 三重」のブランディング化を図るために令和5年度に作成した特設サイトの英語版を作成
- ・アクセスが多いイベント、スポットの内容を随時更新
- ・「みえ旅アンバサダー」など、一般ユーザーを活用したプロモーション
- ・メディアや旅行会社等に活用いただくための県内の画像・動画を集めたメディアページを改修
- ・県内の魅力を発信していくための新たな画像素材を撮影

- ・記事内の画像の無断転載対策として、画像へのクレジット合成機能を実装

【アクセス件数】

- ・ページビュー 総数 26,154,536PV（前年度26,208,243PV 前年度比－0.2%）
- ・訪問者数 総数 12,064,936人（前年度12,475,623人 前年度比－3.3%）

【スマートニュースとの連携】

スマートニュースアプリでの記事閲覧回数：1,492,582回

【マーケティングデータの活用・提供】

公式サイトのアクセスデータを自ら解析し、課題を抽出し、コンテンツを迅速に更新しました。また、アクセス解析データ等をニュースレターとして会員に提供（4月、8月、12月実施）しました。

【みえ旅アンバサダーによる情報発信】

ユーザー目線での情報発信を目的にユーザーと協働して新店情報・花の見ごろ情報のような短文記事によるSNS感覚の情報発信などを実施しました。レポート記事とトピックスにおける4月から3月末までの合計本数（409本）のうち、アンバサダー作成記事が全体の約2分の1（215本）と、きめ細かな記事更新に貢献しました。

【テレビ番組における情報発信】

- ・三重県広報番組（CBCテレビ「チャント！」内よしお兄さんの“みえ”推し！）

4/24「野寛」（鳥羽市）

6/19「いなべ阿下喜ベース」（いなべ市）

7/17「ごかつら池どうぶつパーク」（多気町）

8/28「志摩グリーンアドベンチャー」（志摩市）

9/11「ダイレクトカーズ・マリーナ河芸・猿田彦ベース」（津市・鈴鹿市）

11/6「熊野古道松本峠・熊野古道おもてなし館」（熊野市）

11/20「カメヤマローソクタウン」（亀山市）

2/5「多度グリーンファーム」（桑名市）

2/19「元坂酒造」（大台町）

- ・CBCテレビ「花咲かタイムズ」×よしお兄さんの“みえ”推し！コラボ番組への協力

- ・中京テレビ「大とくさん」PRキングへの道コーナーでおやつタウンの夏のイベントを紹介

- ・中京テレビ「ぐ〜た〜くさん」スピンオフ企画

「知らないの！？行ってみたらすごい町 in 熊野市」

【ラジオ番組における情報発信】

- ・Suzuka Voice FM「土日、どこ行く？」週末お出かけ情報を紹介

4月～令和7年3月：24件

- ・3/7 FM三重「COLORFUL トリップ」

三重県の春夏秋冬におけるおすすめのスポート・グルメなどの観光情報を紹介

（2）公式SNS・メールマガジンによる情報発信

X（旧Twitter）、Facebook、Instagram、LINE、YouTube、TikTokの公式アカウント及びメールマガジンを活用し、SNSの特性に合わせた観光情報を効果的に発信しました。

S N S の種別	令和5年度 〔実績〕	令和6年度 〔目標〕	令和6年度 〔実績〕
X（旧Twitter）（フォロワー数）	77,309人	84,700人	83,709人
Facebook（ファン数）	43,103人	43,600人	43,370人
Instagram（フォロワー数）	52,727人	57,700人	61,607人
LINE（友だち数）	28,665人	32,800人	30,808人
YouTube（チャンネル登録者数）	16,030人	18,100人	16,984人
TikTok（フォロワー数）	3,051人	3,200人	6,755人
メールマガジン（購読者数）	30,158人	31,700人	31,065人
合 計	251,043人	271,800人	274,298人

※Instagramはまとめ用アカウントも含みます。

※目標については過去3年間における平均の増減者数の平均をもとに算出。

（３） 公式サイト・SNS等を活用したWEBプロモーション事業

「三重県の観光情報を発信するメディア」として、公式サイト・SNSや広告等を活用したWEBプロモーション事業を、県・市町・観光協会・観光関連事業者から受託して実施しました。

・バナー広告：16件（R5 12件）

・WEBプロモーション事業：47件（R5 42件）

亀山市、（株）JTB三重支店（3件）、小田急エージェンシー、三重県観光部（2件）、孫太郎オートキャンプ場、（株）旅する温泉道場、熊野市（2件）、松阪市（3件）、鳥羽市観光協会、（株）おやつタウン、四日市観光協会、（有）新屋、島の旅社、三重テレビ放送（2件）、亀の井ホテル鳥羽、中京テレビ（2件）、三重県リニア推進課、三重県企画課（4件）、三重県農山漁村づくり課（2件）、三重県交通政策課（3件）、（株）リクルート（2件）、（株）アド近鉄（2件）、ツーリズムみはま、南伊勢町観光協会、明和観光商社、松阪牛協議会（2件）、伊賀市、多気町、伊勢市商工会議所、J A三重中央会

（４） 観光案内事業

電話、メール、窓口等での観光案内や観光資料等の提供を行いました。

観光案内件数：1,571件

2. 観光情報提供強化事業 14,862千円

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊誌「観光三重」、会員を中心に県内の主な観光施設等を紹介した「三重の観光ガイド」の発行を通じ、観光地情報、イベント情報等のきめ細かい情報発信を行いました。

(1) 季刊誌「観光三重」の発行（4月～3月）

三重県内の最新観光トピックやイベント情報などを幅広く紹介する季刊誌を発行し、紙媒体の特性を活かした観光情報を提供しました。また、デジタルブックを公式サイト「観光三重」に掲載することで、より多くの方に見てもらえるようにするとともに、読者アンケートによりユーザーニーズを把握し、紙面の企画に反映しました。

- ・作成部数：年4回 夏号・秋号・冬号・春号20万部発行
- ・配布先：会員・主要駅・サービスエリア等 約700件
- ・発行時期：年4回 夏号5月24日、秋号8月24日、冬号12月6日、春号3月14日
- ・季刊誌による広告収入：13件（夏号・秋号・冬号・春号）
- ・デジタルブックを作成し、公式サイト「観光三重」へ掲載

(2) 「三重の観光ガイドブック」の作成

県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等の観光情報を網羅的に紹介するガイドブック案を検討しました。

3. 広域観光事業 400千円

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR・観光客誘致を推進しました。日本観光振興協会（関西支部）・関西6府県と連携し、県外での観光展等においてPR活動を行いました。

- ・ 4月17日 三重県観光関西協議会（1名）
- ・ 5月14日 日本観光振興協会関西支部役員会（1名）
- ・ 5月28日 日本観光振興協会関西支部総会（2名）
- ・ 7月5日 東海地区外国人観光客誘致促進協議会（1名）
- ・ 7月8日 日本観光振興協会関西ブロック広域観光振興事業推進協議会（1名）
- ・ 7月31日 日本観光振興協会全国広域観光振興事業運営評議会（1名）
- ・ 9月27日 日本観光振興協会都道府県政令指定都市観光協会会長等会議（1名）
- ・ 3月3日 日本観光振興協会全国広域観光振興事業運営評議会（1名）
- ・ 3月28日 日本観光振興協会関西事務局運営会議（1名）
- ・ 3月28日 日本観光振興協会関西ブロック推進協議会（1名）

II. 誘致拡大のための広報宣伝

1. 観光宣伝事業 149千円

県内外で開催されるイベントにおいて観光PRを行い、誘客促進を図りました。

(1) 大都市圏会員活動支援事業

三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）の会員による旅行エージェント等へのキャラバンセールスに参加し、団体客等の誘致促進を図りました。

- ・12月17日～19日 三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）と連携し、東北地区旅行会社にキャラバンセールスを実施。

(2) 各種宣伝事業

各地域のプロモーション事業に参加し、観光PRを実施しました。

- ・4月5～7日 鈴鹿サーキットで開催された「2024 F1日本グランプリ」にて「鈴鹿F1グランプリ地域活性化協議会」ブースにて協議会参加市町と共同でプロモーションを実施。また、公式サイト「観光三重」や地元誌にて三重県やF1のPRを行いました。
- ・11月8～9日 鈴鹿サーキットで開催された「スーパーフォーミュラ」にて鈴鹿市と連携し、県内の観光PRを実施。

2. 協働宣伝事業 3,166千円

(1) テレビ・ラジオ番組等とのコラボによるPRや情報提供

観光連盟会員の強みを活かしながらマスメディア等を活用した情報発信を行うとともに、メディア関係者等を対象にタイムリーな情報提供を実施しました。

- ・中日新聞(夕刊)、2024年7月5日発行「中部地区の花火大会特集」において三重県の花火情報及び公式サイト「観光三重」をPR。
- ・伊勢新聞、2024年7月7日発行「熊野古道伊勢路・世界遺産登録20周年記念特集」において観光三重公式サイトをPR。
- ・タブロイド「道の駅(旅案内)中部版2024秋冬号」9月発行においてオリジナルLINEスタンプをPR。

(2) 事業企画・宣伝委員会による事業

観光連盟会員の持つ様々なアイデアやノウハウ、マーケティングデータを活用するため、事業企画・宣伝委員会にて新たな企画を検討することで、より効果的な観光誘客事業を展開しました。

【委員会の開催】

- ・7月4日 第1回事業企画・宣伝委員会
- ・12月11日 第2回事業企画・宣伝委員会
- ・2月12日 第3回事業企画・宣伝委員会

【プロモーション事業（三重の酒とあて）】

- ・7月13日、14日 首都圏プロモーション（三重テラス）にて三重の酒とあて（食材）のPRを実施（約200名参加）
- ・9月28日 近畿日本鉄道（株）「つどい」（名古屋駅から鳥羽駅）で「三重のほろよい電車」の運行を実施（62名参加）

【あなただけが知っている「とっておき」の三重フォトコンテスト】

- ・11月15日～1月31日 公式サイト、公式SNS、季刊誌にて写真を募集。
175件の応募があり、委員会での審査で20件を選定。

【三重であなたがしたいことをかなえます】

- ・11月1日～11月30日 公式サイト、公式SNSにてかなえたい夢を募集。
60件の応募があり、委員会の審査で3件を選定。
3件の体験の様子は公式サイト、SNSで発信。

Ⅲ 観光産業及び観光文化の振興

1. 観光物産連携事業 87千円

三重県物産振興会と連携し、県外を中心に開催される物産展において観光物産のPRを展開し、三重県への来訪促進を図りました。

第1回三重・愛知・和歌山の物産展	4月	東武宇都宮百貨店(栃木県)
第67回旬味まるごと三重展	4月	日本橋三越本店(東京都)
第24回ふるさと三重物産展	5月	(株)津松菱
三重・愛知物産展	7月	(株)丸広百貨店川越店(埼玉県)
三重・愛知・和歌山の物産展	7月	(株)トキハ本店(大分県)
第2回三重・愛知・和歌山物産展	10月	西武福井店(福井県)
第4回三重・愛知・和歌山物産展	11月	西武秋田店(秋田県)
第25回三重県の物産展	1月	(株)うすい百貨店(福島県)
第13回三重和歌山奈良の物産展	2月	(株)山形屋(鹿児島県)

Ⅳ 観光基盤整備

1. 観光基盤整備事業 104,479千円

観光連盟が全県DMOとして「地域DMO等支援」や「マーケティングデータの分析・提供機能」を発揮するための取組を実施しました。また、地域懇談会や会員向けの情報発信を行うことにより観光連盟会員同士のネットワークを強化するとともに、観光ボランティアガイドの活動をサポートしました。

(1) 観光振興人材育成事業

県内の観光関連事業者において、観光産業における環境の変化に対応していくための人材を育成する講演を行いました。

- ・7月24日 高田短期大学(高田短期大学・百五銀行・百五総合研究所)にて「三重県観光連盟が取り組むインバウンド誘致について」連盟職員が講演。
- ・11月28日 高田短期大学(高田短期大学・百五銀行・百五総合研究所)にて「みえの観光の現状～持続可能な観光地域づくり～」連盟職員が講演。
- ・1月20日 JA広報担当・日本農業新聞通信員合同実践研修会にて「三重県観光連盟プロモーション取組について」連盟職員が講演。

- ・ 2月3日 専門家を招聘し、Googleビジネスプロフィール活用研修を会員や県内事業者等向けに実施。

（２）地域懇談会の開催

県内各地で地域懇談会を開催し、観光連盟の事業運営について会員からの意見を伺うとともに、会員相互で意見交換・情報交換を行うネットワークづくりの場を提供しました。

- ・ 9月5日 四日市会場
- ・ 9月9日 伊勢会場
- ・ 9月20日 津会場

（３）会員向け情報の提供（メール通信）

観光連盟会員向けのメールマガジンを定期的に発行し、観光行政情報、組織内情報、市場動向等の各種観光情報を提供しました。（月１～２回）

（４）観光ボランティアガイド事業

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会と連携し、観光ボランティアガイドの活動をサポートすることで、地域におけるおもてなし力の向上を図りました。

- ・ 代表者会議 7月29日にプラザ洞津(津市)にて実施。(24団体 68名参加)
- ・ 全体研修会 3月12日に亀山市関文化交流センター(亀山市)にて開催。(22団体 135名参加)
- ・ ラジオ番組出演 FM三重「M I Eリポート」において、観光ガイド団体の活動等を紹介。3月14日(おわせふるさとガイドの会-尾鷲市)、3月21日(芸濃ふるさとガイド会-津市)

（５）観光事業振興功労表彰

観光事業の発展、観光サービスの質的向上に資することを目的に、三重県の観光事業振興等の分野において貢献し、観光客の誘致等に寄与した方々4名を表彰しました。

（６）全県DMO機能に基づく取組（中期事業計画に基づく取組み）（新規）

地域DMO等の支援を行うほか、全県DMOとしての体制を整備していくため、多様な関係者とのネットワークづくりを行うとともに、DMOにおける専門人材として観光連盟職員のスキルアップを図りました。

① 地域DMO等支援事業

地域DMO等に対し、データマーケティング支援の他、観光地経営推進事業、DMO等の運営に係る課題解決型研修や伴走型コンサルティング支援等を行い、データに基づく地域マネジメントの確立を目指すとともに、地域DMO等が独自財源を獲得できるよう事業を行いました。

【目標数値（KGI・KPI）】

区分	項目名	令和5年度 実績	令和6年度			令和8年度 目標値 ※1
			目標 数値	実績	達成率	
KGI	データ等の根拠に基づきエリアをマネジメントできる地域DMO、地域連携DMO等の数	-	3件	3件	100%	7件
	独自財源を複数得ている地域DMO、地域連携DMO等の数（見直予定）	=	2件	—	—	—
KPI	データ分析・提供件数	-	10件	12件	120%	—
	セミナー開催数	-	5件	7件	140%	—
	アドバイザー支援数	-	30件	34件	113%	—
	コンサルティング支援数	-	3団体	9団体	300%	—

① -1 公式サイトの運営・管理及びデータ収集・分析機能強化事業

公式サイト「観光三重」を運営するとともに閲覧者の行動パターンや傾向、コンテンツの閲覧状況、コンバージョン率などの情報を収集し、分析ツールを用いて解析しました。また、公式サイトやSNSなどのオウンドWEBメディアにおいて、新たに実施するインバウンド誘客事業のための情報発信基盤を整備しました。

イ. 多言語サイト「VISIT MIE」の全面改修

現行の多言語サイトはすでに構築から5年以上経過していることから、インバウンド動向を踏まえた新たな多言語サイト（英語、タイ語、繁体字、フランス語）のサイトを構築し、3月にオープンしました。

① -2 デジタル・マーケティング導入支援事業

全県DMOとして、地域DMOや観光関連事業者の方々に活用してもらえるマーケティング・データ収集して提供すると共に、県内DMOのデジタル・マーケティング導入をサポートしていきました。また、インバウンド向けマーケティング支援の一環として、OTA構築検討やGoogle ビジネスプロフィール掲載支援などの受入環境整備支援を行いました。

イ. データ・マーケティング導入研修

- ・7月9日、23日 RESAS活用研修（中部経済産業局）（全2回）
- ・7月25日、8月21日 デジタルマーケティング基礎研修（全3回）
（ナビタイムジャパン）
- ・12月11日、1月30日 デジタルマーケティング研修（＊勉強会方式）（全2回）
（ナビタイムジャパン）

ロ. 地域DMO等へのデータ提供・分析支援

連盟職員及び専門家にて、地域DMO等の状況等に応じた支援を実施。（大紀町観光協会、鳥羽市観光協会、東紀州地域振興公社、相差海女文化協議会、菰野町観光協会、伊賀上野DMO）

ハ. 地域DMO等コンテンツ収集・受入環境整備支援

・OTAの構築検討

次年度での構築を目指し検討を行うため、他県先進事例地視察（和歌山県観光連盟）やOTA等事業者へヒアリングを実施しました。

・Google ビジネスプロフィール掲載支援事業

連盟職員と専門家にて地域DMO等（グリーンクリエイティブいなべ、伊勢市）に対し支援を実施しました。

① -3 地域DMO等育成支援事業

地域DMO等に対して、組織の強化や運営支援、観光地マーケティングの戦略策定と実施、マネタイズの方策、地域連携の推進、情報発信の支援、交流や研修の提供などを通じて、地域の観光産業の発展と地域経済の活性化を図りました。

イ. 県事業等にかかる伴走支援事業

連盟職員が、県と地域DMO等が事業を行う際に地域DMO等に対し伴走支援を実施。（三重自慢」創出支援事業）

ロ. 地域DMO等運営支援

連盟職員が、地域DMO等が活動をするにあたり、現地に入りオーダーメイド型の支援を実施。（大紀町観光協会、鳥羽市観光協会、東紀州地域振興公社、相差海女文化協議会、菰野町観光協会、伊賀上野DMO）

① -4 地域DMO等連携事業

地域DMO等と連携して、地域等のプロモーション事業を実施しました。

9月26～28日 ツーリズムEXPO2024 参加

②全県DMO専門人材の育成等

全県DMO等を担う職員としての専門性を有し、会員や地域との継続的な関係を構築することができる人材を育成するため、研修参加や専門家の伴走支援を受けました。

9月6日 令和6年度「観光地域づくり法人（DMO）による観光地経営研修会」

3月4～5日 観光DXツーリズムサミット2025

② -1 全県DMOを担う三重県観光連盟のあり方検討

「データマーケティング業務」にかかるあり方検討会議を実施し、県・連盟・地域等の役割分担の整理の検討を実施した。あり方検討会議の最終報告書に基づき、「中期事業計画」（完成版）を作成しました。

7月12日 第1回あり方検討会議

8月9日 第2回あり方検討会議

9月13日 第3回あり方検討会議

（７）「JR関西線12駅途中下車の旅」共同連携事業

JR 関西本線の 1 時間に 1 本しか電車がいない状況を逆手に取り、亀山駅から加茂駅まで 12 の各駅で、1 時間単位の散策・滞在ができるコースを企画開発し、関西圏や中京圏発着の企画切符と、食事・観光施設等で使えるクーポンをセットした旅行商品を継続して販売できる体制を構築しました。

- ・ 11 月より公式サイト「観光三重」にて特設サイトを設置するとともに、「JR 関西線 12 駅途中下車の旅」切符を日本旅行サイトで販売。（販売は 2 月 16 日まで）
- ・ 京都・大阪などの関西地区での PR や首都圏（三重テラス）でのプロモーションを実施。
- ・ 県、沿線市町DMO・JR 阪奈支社、日本旅行と連携し、事業運営を行うため、「JR 関西線 12 駅途中下車の旅」連携協働会議を設置・運営。

V 外客誘致促進

1. 国際観光事業 67,934千円

県内の意欲的な地域や事業者等と連携し、対象市場の特性に応じたプロモーションを行い、県内への外国人観光客誘致を図りました。

（１）インバウンド向けマーケティング事業（中期事業計画に基づく取組み）（新規）

【目標数値（KGI）】

区分	項目名	令和 5 年 実績 (確定値)	令和 6 年			令和 8 年 目標値
			目標数値	実績 (※速報値)	達成率	
KGI	台湾延べ宿泊者数	23,370 人泊	26,046 人泊	34,870 人泊	133.8%	56,730 人泊
	タイ延べ宿泊者数	11,250 人泊	13,720 人泊	9,130 人泊	66.5%	37,962 人泊
	シンガポール 延べ宿泊者数	3,570 人泊	3,725 人泊	5,410 人泊	145.2%	5,609 人泊
	香港延べ宿泊者数	17,110 人泊	18,267 人泊	18,400 人泊	100.7%	38,486 人泊

【目標数値（KPI）】項目見直し後※ 1

区分	項目名		令和 5 年度 実績	令和 6 年度			令和 8 年度 目標値
				目標数値	実績	達成率	
KPI	外部メディアの 情報発信数	媒体数	—	2 媒体	2 媒体	—	4 媒体
	フェイスブ ックのフォ ロワー数	英語	187,983 人	182,628 人	182,628 人	—	203,100 人
		繁体字	38,327 人	39,441 人	39,441 人	—	43,200 人
		タイ語	76,172 人	78,509 人	78,509 人	—	84,000 人
	インスタグ ラムのフォ ロワー数	英語	14,062 人	14,554 人	14,554 人	—	15,800 人
		繁体字	5,071 人	5,311 人	5,311 人	—	5,700 人
		タイ語	4,022 人	4,172 人	4,172 人	—	4,500 人

	ファムトリップの実施	旅行会社	—	31社	31社	—	40社
		インフルエンサー	—	13人	13人	—	30人
	商談会の開催	台湾	—	1回	1回	—	1回
		タイ	—	1回	1回	—	1回
		シンガポール	—	0回	0回	—	1回

※1：KPIについて、令和6年度の取組をふまえて項目の見直しを実施しました。また、令和6年度の目標数値は実績値を記載しています。

① 基盤整備事業

①-1 販売促進基盤整備（観光コンテンツ、セールスコール相手方等のデータベース整備

事業）※「7-①地域DMO等支援事業」の「公式サイトの運営・管理及びデータ収集・分析機能強化事業」の内数として実施

三重県の魅力的な観光資源やコンテンツを用いたプロモーションや販路開拓等の施策を効果的に推進するために、市場・営業先・観光コンテンツ・観光等施設・コンテンツ写真等の情報を一元管理し、適切に運営するための基盤を整備しました。また、三重県内の地域や施設に観光客の送客を促すために、蓄積された情報を用いて効果的な施策を実施しました。

①-2 海外旅行会社からの手配対応に関する仕組みの整備

令和7年度以降、連盟が海外旅行会社からの手配オーダーに対応できるよう、国内のランドオペレーターや旅行会社とのコネクションを形成し、効果的な手配対応や情報提供の仕組みの構築に取り組みました。

- ・8月28日 国内ランドオペレーターとの商談会（一般社団法人志摩市観光協会主催）に参加し、6社との商談を実施。

② BtoC向けプロモーション事業

②-1 多言語ウェブサイトおよび公式SNS等を活用した情報発信事業

三重県の魅力的な観光資源や観光コンテンツの認知度を向上し、実際の誘客につなげるため、多言語ウェブサイトや外国語の公式SNS等オンラインを活用した情報発信に取り組みました。

【海外向け公式SNSの運用】

- ・フェイスブック（8種7言語）およびインスタグラム（3言語）を運用し、ネイティブライターによる投稿を月に3本実施。
- ・9月後半からインスタグラムのフォロワー獲得を目的として、県内をする外国人旅行者を対象に、SNSアカウントのフォローを条件にノベルティを配布するキャンペーンを実施。

②-2 JNTOと連携した情報発信事業

専門的な知見と豊富な外国人旅行者のデータを有する日本政府観光局（JNTO）と連携し、海外の訪日関心層に対して三重県の魅力的な観光資源やコンテンツの情報発信を行うことで、認知度の向上を図りました。

- ・JNTOの公式ウェブサイト内に県内の「朝または夜の体験コンテンツ」テーマとした記事を多言語で掲載し、広告配信等により記事への誘導を実施。

- ・ J N T O が全国から観光コンテンツを収集し、公式ウェブサイト内への掲載や訪日プロモーションに活用する事業に参画。インバウンド委員会でコンテンツを募集し、5 件の施設が採択された。

② -3 海外の有力メディアを活用した情報発信事業

三重県の観光コンテンツの認知度向上を図るため、訪日関心層に影響力を有する現地メディアを活用した効果的なプロモーションを実施しました。

- ・ 台湾および香港市場からの誘客を図るため、台湾・香港でNo. 1 の訪日メディア「ラーチーゴー！日本」を活用し、「三重県でしか買えない魅力的なお土産」をテーマとしたウェブ記事の制作と発信を実施。

② -4 その他の情報発信事業

- ・ 9 月 26 日～28 日、中部国際空港およびタイ国際航空と連携し、県内へのインフルエンサー（10 名）の招請を実施。

③海外旅行会社向け販路開拓事業

③ -1 台湾レップ設置事業

三重県内へのインセンティブツアーなどの誘客を図るため、重点市場である台湾にセールスレップ（営業代理店）を設置し、旅行会社へのセールスや三重県の観光情報を提供する観光セミナーの開催、旅行博への出展等に取り組みました。

- ・ 台湾にレップを設置し、現地旅行会社（20 社）へのセールス、現地旅行会社を対象とした観光情報セミナー（1 回）を実施。
- ・ 10 月 2 日～5 日、台湾の訪日旅行を取り扱う旅行会社 2 社 2 名を招請し、県内の観光地、宿泊施設およびレストラン等を視察するファムトリップを実施。
- ・ 12 月 4 日、台北市内において現地旅行会社を対象とした三重県観光セミナーを開催するとともに、インバウンド委員会事業として現地商談会・意見交換会を開催。

③ -2 タイレップ設置事業

三重県内へのインセンティブ旅行などの誘客を図るため、重点市場であるタイにセールスレップ（営業代理店）を設置し、旅行会社へのセールスや三重県の観光情報を提供する観光セミナーの開催、旅行博への出展等に取り組みました。

- ・ タイにレップを設置し、三重県が令和 6 年 1 月に連携覚書を締結したタイ旅行業協会（T T A A）との連絡窓口や T T A A 会員向けのアンケート、現地旅行会社・メディア（15 社）へのセールス、ニュースレターの配信およびタイ旅行博への出展等を実施。
- ・ 1 月 15 日～1 月 19 日、バンコクで開催された旅行博「タイ国際旅行フェア（T I T F）」に参加し、商談会への参加と三重県ブースの出展を実施。ブースには一見知事が視察のため訪問。また、会場内で行われた一見知事とタイ旅行業協会（T T A A）幹部らとの意見交換に観光連盟からインバウンド委員長および事務局長が同席。

③ -3 その他の海外旅行会社向け販路開拓事業

- ・ 6 月 17 日～18 日、三重県観光部と合同でタイ・バンコクを訪問し、T T A A 総会において三重県観光部からプレゼンテーションを行うとともに、ランチミーティング等により T T A A 幹部との関係を構築。また、現地旅行会社（2 社）へのセールスを実施。

- ・ 6月23日～24日、三重県観光部と合同で香港を訪問し、訪日旅行の最大手であるEGLツアーズおよび日本政府観光局（JNTO）香港事務所等への訪問を実施。
- ・ 7月7日～12日、シンガポールおよびタイを訪問し、シンガポールの旅行会社（8社）へのセールス、中部国際空港利用促進協議会の主催によりタイ・バンコクで開催されたセミナー・商談会への参加、タイ旅行会社（3社）へのセールスおよびタイ国際航空への訪問を実施。
- ・ 9月26日～28日、JNTOが主催する海外旅行会社との商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2024（VJTM2024）」に参加し、ターゲット市場を中心に30件の商談を実施。
- ・ 2月10日～11日、関西観光本部が主催する「オール関西 台湾大商談会」に参加し、10日（台中）は22件、11日（台北）は18件の商談を実施。

④ インバウンド委員会運営事業

インバウンド委員会に参画する観光連盟会員と情報共有を行うことで委員間のネットワークを強化し、連携して海外旅行会社との商談会に参加するなど、事業対象市場（台湾、タイ、シンガポール及び香港）からの旅行者誘致に取り組みました。

- ・ 7月16日に第1回、1月22日に第2回、3月10日に第3回のインバウンド委員会を開催。3月31日時点で77者（市町委員9者、宿泊施設委員23者、企業・団体委員45者）が委員会に参画。
- ・ 9月16日～20日、TTAA会員の旅行会社6社6名を招請し、県内観光地等を視察するファミトリップを実施。また、9月19日には鈴鹿サーキットにおいて、招請した6名と県内観光事業者10社10名による意見交換会および交流会を実施。
- ・ 12月4日、台湾において商談会および旅行会社との意見交換会を実施。三重県側から商談会に23者29名、意見交換会に19者22名が参加。
- ・ 3月2日～6日、TTAA会員の旅行会社およびタイ国際航空の計11社を招請し、県内観光地等の視察を行うとともに、津市内で商談会および交流会を開催。

⑤ JNTO認定外国人観光案内所の認定取得

インバウンド本格再開に備え、外国人観光客受入れ体制を強化するため、JNTO認定外国人観光案内所としての運営を行いました。

VI. 観光連盟の運営

（1） 総会

① 定時総会

- ・ 日時：令和6年6月28日（金）
- ・ 場所：ホテル プラザ洞津（津市新町）
- ・ 議題：第1号議案「令和5年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録並びに附属明細書について」
第2号議案「役員の選任（案）について」

(2) 理事会

①第1回理事会

- ・日時：令和6年5月31日（金）
- ・場所：ホテル津センターパレス（津市大門）
- ・議題：第1号議案「令和5年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録並びに附属明細書について」
第2号議案「役員の一部交替（案）について」
第3号議案「事業企画・宣伝委員会委員の一部交替（案）について」
第4号議案「インバウンド委員会委員の選任（案）について」
第5号議案「令和6年度事業計画及び収支補正予算（案）について」
第6号議案「令和6年度定時総会の招集（案）について」

②第2回理事会

- ・日時：令和6年10月7日（月）
- ・場所：ホテル プラザ洞津（津市新町）
- ・議題：第1号議案「令和6年度事業計画及び収支補正予算（案）について」
第2号議案「副会長の選任（案）について」

③ 第3回理事会

- ・日時：令和7年3月18日（火）
- ・場所：ホテル プラザ洞津（津市新町）
- ・議題：第1号議案「令和6年度事業計画及び収支補正予算（案）について」
第2号議案「中期事業計画（令和6～8年度）（案）について」
第3号議案「令和7年度事業計画及び収支予算（案）について」
第4号議案「規程の制定及び一部改正（案）について」

7. 会員の状況

入会：28 会員 退会：9 会員

令和7年3月31日現在 会員数：347 会員

8. 事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書となる「事業報告の内容を補足する重要な事項」はなし。